

みやぎ発信型新規野菜の安定生産技術(トレビス)

宮城県農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

当所ではこれまで、宮城県とイタリア・ローマ県との友好姉妹協定を契機に、イタリア野菜の生産普及に向けた技術開発を行っており、プンタレッラ（ローマ近郊の伝統野菜）やタルディーボ（レッドチコリーの細葉不結球タイプ）等の栽培技術を確立し、すでに宮城県内で生産が開始され、外食業務向けに販売経路を開拓している。

これらのような国内供給を輸入に依存している品目は他にも多数あり、生産安定のためには品目ごとの栽培技術情報が必要とされている。そこで、西洋料理店等で需要の見込まれる有望な品目として挙げられるトレビスについて、宮城県内における作型と安定的に生産できる技術を体系化したので参考資料とする。

2 参考資料

1) 特徴

キク科キクニガナ属レッドチコリーの一種、結球部が球形のタイプ（*Radicchio rosso di Chioggia* [伊]）。日本での流通名はトレビスという。

色彩（葉柄の赤色と中肋の白色）と苦味が品質の特徴で、多くはサラダ等の生食に使用する。国内の生産量は少なく、流通しているものは輸入品が多くを占める。



図1 トレビス

2) 作型

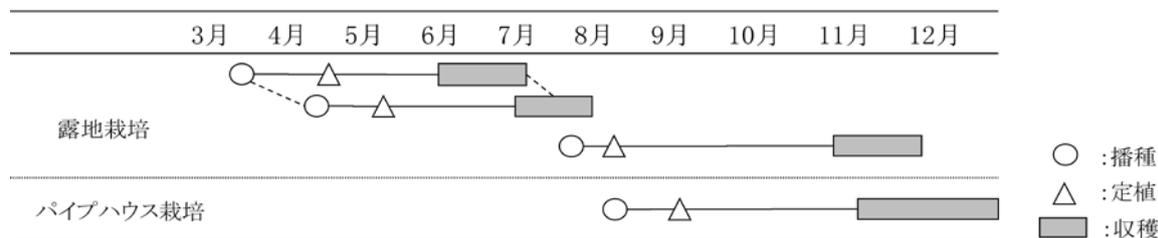


図2 宮城県におけるトレビスの作型

3) 栽培

春まき・露地栽培の播種時期は、3月中旬から4月上旬が適する。4月中旬以降に播種すると、収穫時期に球内抽だいが進み、商品株収穫率が低下する。また、夏まき作型に比べて結球重が小さくなるので、「レッドロック」や「TSGI-010」等の肥大性の良い品種を用いる（表1）。

夏まき・露地栽培では7月下旬、夏まき・パイプハウス栽培では8月上旬に播種すると11月から収穫時期となる（表2, 3）。夏まき栽培では早まきすると抽だいの恐れがあり、遅まきだと十分に結球肥大しないことがあるので、播種時期に注意する。

育苗は128穴または200穴セルトレイ上で約1ヶ月行い、本圃での栽植密度は1a当たり590～790株（ベッド幅80cm～100cm，通路50cm，株間30cm，条間25cm，3～4条植え），基肥は窒素成分で1.0kg/a程度を施用する（表2）。

3 利活用の留意点

1) 収穫時期は、結球部の締まり程度を目安に判断する。結球が緩いと商品歩留まりが低く、結球肥大が進すぎると結球部が固くなり、葉が剥がれにくい等の商品性低下の原因になるため、結球部が

適度に締まっていることを確認して収穫する。

2) チョウ目害虫やアブラムシ類が発生することがあるので、作物名「トレビス」または「野菜類」を対象に登録されている農薬で防除する。

3) 経営試算の参考として、1a当たりの生産物収益と生産資材費を算出した(表4)。

(問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所 バイオテクノロジー開発部 電話022-383-8131)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名および研究期間

みやぎ発信型の新規園芸品目の定着技術の確立(平成23~25年度)

2) 参考データ

表1 春まき露地栽培の収量、品質(平成24年・所内試験)

播種 (月日)	定植 (月日)	収穫日 (月日)	品種	結球重 (g)	球高 (cm)	球径 (cm)	縦横比 (球高/球径)	商品株 収穫率 (%)	商品収量 ^z (kg/a)
3/16	4/17	7/3	レッドロック	388	11.6	12.0	0.97	99.0	226
			レッドロック	325	11.7	11.3	1.04	99.0	189
		7/11	レッドロック	398	11.7	11.3	1.04	93.9	220
4/11	5/18		7/18	TSGI-010	427	11.6	11.9	0.97	86.5
		TSGI-011		353	10.6	10.8	0.98	88.9	185
4/20	5/25	7/27	レッドロック	358	14.0	10.8	1.30	87.0	183
			TSGI-010	409	13.5	10.9	1.24	75.9	183
			TSGI-011	309	11.6	10.6	1.10	80.9	146

z: 栽植密度 590 株/a で算出 * 基肥は窒素成分 1.0kg/a 施用。

表2 夏まき露地栽培の施肥量が収量に及ぼす影響(平成25年・所内試験)

播種 (月日)	定植 (月日)	収穫日 (月日)	品種	施肥量 N kg/a	結球重 (g)	球高 (cm)	球径 (cm)	縦横比 (球高/球径)	商品収量 ^y (kg/a)
7/24	8/22	12/9	TSGI-010	0.0	216a ^z	10.5	10.4	1.01	115
				0.5	257a	10.9	11.1	0.98	136
				1.0	454b	12.3	13.4	0.92	241

* 施肥前土壌化学性：pH 6.44, EC 0.22(mS/cm), NO₃-N 0.26(mg/100g)

z: Tukeyの多重比較検定で同じ文字間に有意差なし(P<0.05) y: 栽植密度590株/a, 収穫率90%で算出

表3 夏まきパイプハウス栽培の収量、品質(平成23年・所内試験)

播種 (月日)	定植 (月日)	収穫日 (月日)	品種	結球重 (g)	球高 (cm)	球径 (cm)	縦横比 (球高/球径)	商品収量 ^z (kg/a)
8/4	9/2	11/15	レッドロック	568	13.0	11.8	1.10	301
			トレビノ	508	12.3	12.7	0.97	269

z: 栽植密度 590 株/a, 収穫率 90%で算出

表4 1a当たり生産物収益、生産資材費

項目(円/a)	金額(円/a)	備考
生産物収益	60,000	*目標収量：200kg/a 参考単価：300円/kg ^z
生産資材費	6,952	*露地栽培を想定。出荷販売経費は含まれていない。 *使用資材：種子(コート種子), セルトレイ(黒128穴, 1作使い切り), 育苗培土, 肥料(化成肥料(施用量NPK成分量で各1.0kg/a)), マルチ(白黒ダブルポリ, 135cm幅), 農薬(BT剤2回使用)

z: 宮城県内トレビス生産者, 卸売業者, 仲卸業者(仙台市場、築地市場)からの聞き取り調査を参考にしている。

3) 発表論文等

a 関連する普及に移す技術

a) みやぎ発信型野菜タルディーボの安定生産技術(第86号普及技術)

b その他 なし

4) 共同研究機関 なし